

## 数 学 II

### 1. 学習の到達目標

基礎基本を確実に定着させ、大学入試問題などの高いレベルの問題にもそれらを正確に活用・表現することを通じて、課題の解決に際し数学的論拠に基づいて思考・判断し、自らの考えを表現・検証できる能力を育てる。

### 2. 使用教科書：新編数学II（実教出版）

### 3. 指導計画

| 学習時期   |     |     | 単元／学習事項  | 学習のねらい  |
|--------|-----|-----|--|---|
|        | 文系  | 理系  |  |   |
| 1<br>年 | 12月 | 12月 | 指数関数・対数関数<br>・指数の拡張、指数関数<br><br>・指数方程式、指数不等式<br>・対数とその性質、対数関数<br>【後期期末考査】<br>・対数方程式、対数不等式<br>・常用対数 | ・指数を実数の範囲まで拡張できる。<br>・累乗根を理解する。<br>・指数関数の増減を利用してグラフが描ける。<br>・指数関数のグラフを利用して方程式や不等式が解ける。<br>・対数の性質を調べ、指数との対比ができる。<br>・対数関数の増減を利用してグラフが描ける。<br>・対数関数のグラフを利用して方程式や不等式が解ける。<br>・常用対数を利用して桁数を考えることができる。 |
|        | 1月  | 1月  |  |   |
|        | 2月  | 2月  |  |   |
|        | 3月  | 3月  |  |   |

### 4. 評価規準と方法

#### 【評価規準】

- 積極的に学習に参加し、学習内容を理解しようとしている。
- 定義の意味やその特性および公式の性質を理解している。
- グラフや公式を活用し、いくつかの側面から問題を捉え、解法に結びつけることができる。
- 的確な表現を用い、説明できる。

#### 【評価方法】

定期考査、確認テスト、提出課題および提出状況、学習活動への取り組み方